

○芦田川の減災に係る取組内容一覧(芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

具体的な取り組みの柱		実施期間 (取組方針策定時の予定)	実施する機関					実施状況	実施内容・調整事項等	備考 【資料-6掲載ページ】
事項	具体的な取組		福山市	府中市	広島県	気象庁	中国地整			
協議会・幹事会の開催		毎年出水期前	○	○	○	○	○	毎年、出水期前に幹事会、協議会を実施し、前年度のフォローアップ(進捗状況)、当年度の取組方針について確認を行う ■H28.11.30協議会(取組方針策定)・H29.3.27幹事会 ■H29.4.25幹事会・H29.5.23協議会 ■H30.4.26幹事会・H30.5.23協議会実施、H31.1.18幹事会 ■R元年度 幹事会・R元年度 協議会	—	
1) 洪水氾濫を未然に防ぐ対策等										
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策										
・流下能力対策 ・浸透対策		継続実施					○	継続	■H28年度 芦田川左岸22k400付近(福山市新市町)において浸透対策を実施 ■H29年度 芦田川左岸22k600付近(福山市新市町)において浸透対策を実施 ■H30年度 芦田川右岸29k200付近(府中市父石町)において流下能力対策を実施 ■R元年度 継続実施	P1
■危機管理型ハード対策										
・天端の保護		継続実施					○	—	■H28年度 芦田川左岸30k000付近(府中市父石町)において堤防天端舗装実施 ■H29年度 芦田川左岸40k800付近(府中市久佐町)において堤防天端舗装実施(全区間完了)	—
■ダムの効果的・効率的な運用										
下流河川の被害を軽減するため、流入量予測の精度向上等による更なる効果的な運用を実施		H25年度より特別防災操作(適応操作)を試行中					○	継続	■H28年度 H28.6.23に特別防災操作(適応操作)を実施 ■H29年度 気象庁等の気象予測を活用しながら、予測把握に努め、適切に特別防災操作(適応操作)を実施していく ■H30年度 継続実施 ■R元年度 継続実施	P2、3
2) ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組										
■広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知等										
・広域避難計画の策定		令和2年度	○	○	○	○	○	調整	■H29年度 (課題)H29年度以降の県管理河川の想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成・公表時期が未定 芦田川の浸水想定区域図を基に避難困難状況の想定を行う ■H30年度 継続実施 ■R元年度 継続実施	—
・要配慮者利用施設の避難計画の作成および訓練の促進		平成29年度～	○	○				避難計画作成促進	■H28年度 H29.2.27に要配慮者施設管理者への説明会実施(広島県・中国地整・気象庁) ■H29年度 要配慮者利用施設の避難計画の作成促進 ■H30年度 継続実施 ■R元年度 継続実施	P4
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表		H29年度					○	—	■H28年度 作成・公表準備 ■H29年度 H29.4.19に公表済	—
・広域避難を考慮したハザードマップの改定・周知		平成29年度～	○	○				作成準備調整	■H29年度 (課題)H29年度以降の県管理河川の想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成・公表時期が未定 ■H30年度 継続実施 ■R元年度 継続実施	P4
■タイムラインに(防災行動計画)に基づく実践的な訓練										
・タイムラインに基づく実践的な訓練		平成29年度～	○	○	○	○	○	実施	■H29年度 タイムラインの見直し・検証・タイムラインの流れに準じた訓練を実施し、問題点等抽出(国交省訓練 H29.4.28 福山市訓練 H29.5.26 府中市H30年度実施) ■H30年度 継続実施(国交省訓練 H30.4.25 福山市訓練 H30.5.25、H30.11.25 府中市H30予定) ■R元年度 継続実施(国交省、福山市、府中市)	P5
・ホットラインの活用		継続実施	○	○	○	○	○	継続	■H28年度 ホットライン確認 ■H29年度 連絡先確認、訓練時にシナリオ反映(H29.4.28国交省訓練実施済 H29.5.26福山市訓練) ■H30年度 継続実施(国交省訓練 H30.4.25 福山市訓練 H30.5.25、H30.11.25 府中市H30予定) ■R元年度 継続実施	P5
・多機関連携型タイムラインの整備		平成30年度～	○	○	○	○	○	作成中	■H30年度 多機関連携型タイムライン作成の事前準備として関係機関による勉強会を実施 ■R元年度 効果的な防災行動を目指し、河川管理者、区市町村、気象台等に加え福祉部局やライフライン事業者等多くの関係機関が連携した水害対応タイムラインを策定する	P6
■防災教育や防災知識の普及										
・防災リーダー研修		継続実施	○	○				継続	■H28年度 H29.2.5福山市実施 H28.10.16府中市実施 ■H29年度 継続実施(H29.9～11月) ■H30年度 継続実施 ■R元年度 継続実施	P7
・地区防災計画の作成支援		継続実施	○	○				継続	■H28年度 自主防災組織等への研修(H28.7.3福山市実施) ■H29年度 継続実施 ■H30年度 継続実施 ■R元年度 継続実施	P7
・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催		継続実施	○	○	○	○	○	継続	■H28年度 出前講座により防災に関する講義実施(年間通して実施) ■H29年度 継続実施(H29.5.2福山市自治連合会の会議内において浸水想定区域図について説明実施) ■H30年度 未実施 ■R元年度 継続実施	—
・学校の防災教育に対する支援		平成30年度～	○	○	○	○	○	継続	■H30年度 協議会による防災に関する出前授業を行い、防災学習に関する指導計画書(案)を作成 ■R元年度 協議会を通じて教育委員会へ情報提供を行い、流域内の小学校へ周知	P8

○芦田川の減災に係る取組内容一覧(芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会)

具体的な取組みの柱 事項	実施期間	実施する機関					運用状況	実施内容・調整事項等	備考 【資料-6掲載ページ】
		福山市	府中市	広島県	気象庁	中国地整			
具体的取組									
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	平成29年度～				○		運用中	■H28年度 準備 ■H29年度 翌朝、数日先までの警報級の現象になる可能性の提供、時系列で危険度を色分けした分かり易い表示、流域雨量指数の予測値による洪水危険度の見通し把握及び中小河川に係る避難判断を支援する方策等々の運用	—
・15時間先までの降水予報短時間予報	平成30年度				○		運用中	■H30年度 詳細な降水分布を予測する「降水短時間予報」の予報時間を現在6時間先から15時間先まで延長	P9
・台風強度予報の予報期間延長	平成30年度末				○		運用中	■H30年度 台風の強度予報(中心気圧や最大風速等)の予報期間を現在の3日先から5日先まで延長	P9
・警戒レベルを用いた防災情報の発信	令和元年度	○	○	○	○	○	R元年6月運用開始	■R元年度 警戒レベルを用いた防災情報の発信	P10
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報発信	平成29年度～					○	運用中	■平成28年度 関係自治体への事前説明済み ■平成29年度 H29.5.1運用開始(福山市・府中市全域) ※近隣自治体(尾道市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市についても情報提供済み)	P11
・ライブカメラの情報をリアルタイムで提供	平成29年度～					○	運用中	■H28年度 システム構築 ■H29年度 H29年6月迄に福山河川国道事務所ホームページより公開開始	P12
・危機管理型水位計(簡易型水位計)の整備及び情報提供	平成30年度～					○	運用中	■H30年度 洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置し、きめ細やかな水位観測を行う	P13
・簡易型河川監視カメラの整備及び情報提供	令和元年度					○	準備中	■H30年度 運用に向けた事前準備 ■R元年度 機能を限定した低コストな簡易型河川監視カメラを設置し、従来の水位情報だけでは伝わりにくい切迫感を共有し、円滑な避難を促進	P14
・マイタイムラインの作成支援	令和2年度	○	○				新規	■R元年度 運用に向けた事前準備	P14
・内水状況を踏まえた避難情報発信の検討	令和元年度～	○	○	○			新規	■R元年度 内水状況を踏まえた避難情報のあり方について検討を行う	P15
2) ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動									
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化									
・関係機関が連携した水防訓練の実施	H29年度～	○	○	○	○	○	継続	■H28年度 H28.5.24 水防工法講習会実施(広島県主催) ■H29年度 H29.5.24 水防工法講習会実施(広島県主催) ■H30年度 H30.5.21 水防工法講習会実施(広島県主催) ■R元年度 継続実施 水防工法講習会実施(広島県主催) R1.5.28予定	P16
・水防団等への連絡体制の再確認、水防団同士の連絡体制の確保と伝達訓練の実施	H29年度～	○	○				継続	■H28年度 自治体による水防団同士の連絡体制確認(年度初旬)及び情報伝達訓練等の実施 ■H29年度 自治体による水防団同士の連絡体制確認(年度初旬)及び情報伝達訓練等の実施 ■H30年度 自治体による水防団同士の連絡体制確認(年度初旬)及び情報伝達訓練等の実施 ■R元年度 継続実施	P16
・水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	継続実施	○	○			○	継続	■H28年度 実施無し(前回はH27.12に実施) ■H29年度 水防関係者と合同巡視(福山市 H29.6.7、府中市 H29.9.27実施) ■H30年度 水防関係者と合同巡視(福山市 H30.6.11、府中市 H30.6.4実施) ■R元年度 継続実施	P16
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	継続実施	○	○			○	継続	■H28年度 土木コンサル、土木業者との災害協定の締結(H28.4.1～H29.3.31) ■H29年度 土木コンサル、土木業者との災害協定の締結(H29.4.1～H30.3.31) ■H30年度 土木コンサル、土木業者との災害協定の締結(H30.4.1～H31.3.31) ■H31年度 土木コンサル、土木業者との災害協定の締結(H31.4.1～H32.3.31) ※福山市・府中市においては関係する機関と協定締結(地域防災計画)	P16
■避難行動、水防活動、排水活動に資する水防資機材の配備									
・避難行動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	平成29年度～	○	○	○		○	継続	■H28年度 各機関で配備 ■H29年度 各機関で配備している水防資機材について、備蓄資材の一覧を作成、共有 ■H30年度 各機関で配備している水防資機材について、備蓄資材の一覧を作成、共有 ■R元年度 各機関で配備している水防資機材について、備蓄資材の一覧を作成、共有(令和元年6月迄に整理)	P16
2) ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策									
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施									
・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	平成29年度～	○	○	○		○	継続	■H28年度 H28.6.14排水機場操作訓練実施、H28.6.13排水ポンプ車操作訓練を実施(国交省のみ実施) ■H29年度 H29.6.15排水機場操作訓練、H29.6.8排水ポンプ車操作訓練を実施(関係自治体参加) ■H30年度 H30.6.11・13排水機場操作訓練、H30.6.6排水ポンプ車操作訓練を実施(関係自治体参加) ■R元年度 継続実施	P17